

石狩市芸術文化振興奨励補助金計画書

令和6年4月18日

事業名	フロレンシア・ルイス & 公開車庫 Japan Tour 2024		
事業者名 (代表者名) 住所 電話番号	特定非営利活動法人アートウォーム 理事長 住 吉 央 行 (〒061-3281) 石狩市花畔1条1丁目56番地 (TEL 0133-64-4664)		
事業内容			
[実施期間] 令和6年7月28日(日)14:00開演 [趣旨・目的] ギター・ヴォーカルのアルゼンチンの歌姫「フロレンシア・ルイス」と、国際的パーカッション ニスト「ヤヒロトモヒロ」とベーシストの「宮田岳」の音楽ユニット「公開車庫」による3名の 生ライブをアートウォームで開催し、国際色豊かで哀愁のあるサウンドを直に体験してもらうこ とで、ここ石狩に居ながらにして異空間の癒しの時間が得られることを期待し、多くの市民に提 供したい。 [補助金交付要望額] 500,000 円			
補助事業者の概要			
[会員数] 16名 [会の発足年月日] NPO法人：平成16年8月20日（任意団体：平成13年7月13日） [現在までの活動状況等] 当法人は、花畔レンガ倉庫の「ArtWarm」を管理・運営し、活動・発表の場を提供する ことによって、北コミセン大ホールなど、施設規模や使い勝手の問題等により、これまで実現し 得ないと思われた、小・中規模あるいは自由な発想による地域文化活動に関する創造・発表・交 流の機会を創出している。 ソフト事業としては、主催または市内関係団体との協働によって、 各種展覧会、音楽コンサートなどを実施するとともに、市教委などが 実施する情操教育スタートプログラムの「おしゃべランド」の開催の 運営に協力し、普段、市内での鑑賞が難しい、質の高い文化芸術にふ れあう機会を積極的に提供してきました。 また、平成23年度からは、子育て支援のため、新たに親子体験事業 や子育てカフェの営業も行っている。			
			受付印

この他、会員名簿

会の規約

これまでの活動の内容がわかる資料

などがあれば、併せてご提出願います。

様式第2号その2（第5条、第17条関係）

運営費（大会運営費）用

事業（計画・実績）書

名 称	フロレンシア・ルイス & 公開車庫 Japan Tour 2024
開 催 日 時	令和6年7月28日（日）14時開演
開 催 場 所	アートウォーム（石狩市花畔1条1丁目56番地）
参加対象範囲 及び参加（予 定）人数	〔対象範囲〕 市民および近隣住民（市内の小中高生は無料） 〔参加予定人数〕 80人
補助事業等の 内 容	〔出演〕 アルゼンチンのギター・ヴォーカル「フロレンシア・ルイス」は、2015年、フジテレビ系ドラマ「心がポキッとね」（出演：阿部サダヲ、山口智子、藤木直人、他）の挿入歌の2曲を作詞作曲。自らがギターを弾き歌ったこの挿入歌が話題となった。また両脇をサポートする「公開車庫」は、国際的パーカッショニスト「ヤヒロトモヒロ」とNHK Eテレ「シャキーン！」の「がっちゃん」こと、ベーシスト「宮田岳」の2名による音楽ユニット 〔内容〕 「フロレンシア・ルイス」のヴォーカルによる歌を中心に、「公開車庫」がそのサウンドを支えるライブであり、途中来場者の方々と一緒にセッションを行うコーナーも設ける。
補助事業等実 施による効果	多くの市民が、アートウォームという場所で、国際色豊かで哀愁のあるサウンドを直に体験することで、ここ石狩において異空間の癒しの時間が得られること、またアフターコロナにおける心の回復が期待できるとともに、小中高生にとっても、新たな音楽の発見や、情操力の飛躍的な向上なども期待できる。
備 考	

注1 この様式は、大会等の開催その他これに類する事業等に要する経費に係る補助金等の交付を申請し、又は当該補助金等に関し実績報告をする場合に使用すること。

2 補助事業等の内容は、事業項目ごとに詳細に記載すること。

3 この様式には、当該大会等を主催する団体の構成員（役員）名簿を添付すること。

事業（予算・決算）書

補助事業等の名称

フロレンシア・ルイス & 公開車庫 Japan Tour 2024

収入の部

科 目	金 額 (円)	備 考
料金収入	125,000	大人前売 2,000 円×50 名、大人当日 2,500 円×10 名、小・中・高生無料
石狩市補助金	500,000	
自己財源	471,370	
合 計	1,096,370	

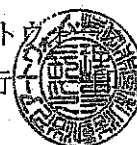
支出の部

科 目	金 額 (円)	備 考
委託料	1,040,000	出演者公演委託料（一式）
需用費	22,800	印刷製本費(8,800 円)、食料費(14,000 円)
役務費	33,570	ピアノ調律費：19,800 円、 振込手数料：770 円、通信費：1,000 円 広告宣伝費：12,000 円
合 計	1,096,370	

令和6年4月18日

補助事業者等 特定非営利活動法人アート

理事長 住 吉 央 行



注1 この様式には、当該補助事業等に係る予算（決算）のみを記載すること。

2 「科目」欄の区分は、標準を示したものであるので補助事業者等における通常の予算区分がこれと異なるときは、その区分に従い記載して差し支えない。ただし、補助対象経費と補助対象外経費が明確になるように細分化すること。

3 「備考」欄には、必要に応じ、算出基礎その他必要な事項を記載すること。

石狩市芸術文化振興奨励補助金計画書

令和 6 年 5 月 9 日

事業名	金管五重奏コンサート		
事業者名 (代表者名)	特定非営利活動法人こども・コムステーション・いしかり		
住 所	理事長 伊藤 美由紀 (〒061-3282)		
電話番号	石狩市花畔2条1丁目9-1北ガスプラザ石狩 (Tel0133-64-5640)		
事業内容			
〔実施期間〕 令和 6 年 10 月 26 日(土)			
〔趣旨・目的〕 コンサートの開催を通じて市民や地域の方々に文化芸術の発展を促し、文化芸術への意識向上に寄与することを目的とします。			
〔補助金交付要望額〕 390,000 円			
補助事業者の概要			
・会員数 30名 ・会の発足年月日 平成14年10月15日 ・現在までの活動状況等 「子どもの居場所づくり」をミッションに、子どもたちが心身ともに豊かに育ちあえる社会を整備していく活動をすすめています。			
石狩市児童館指定管理事業(3拠点) 石狩市放課後児童クラブ事業(8拠点) 石狩市子育て支援拠点事業(りとるぎっず1拠点) 鑑賞活動(クラシックコンサート、人形劇) 食育活動(キューピーみらいたまご財団助成事業) 野外体験活動(子どもゆめ基金助成事業)			受付印

この他、会員名簿会の規約これまでの活動の内容がわかる資料などがあれば、併せてご提出願います。

様式第2号その2（第5条、第17条関係）

運営費（大会運営費）用

事業（計画・実績）書

名 称	金管五重奏コンサート
開 催 日 時	令和6年10月26日（土）14時から 令和6年10月26日（土）18時まで
開 催 場 所	ArtWarm（石狩市花畔1条1丁目56番地）
参加対象範囲 及び参加（予定）人数	対象：石狩市、札幌市 参加予定人数： 100 人
補助事業等の 内 容	札幌交響楽団員によるコンサートを実施。 入場の際には年齢制限をせず、市民や地域の方々誰もが楽しめるクラシックコンサート鑑賞の機会を提供する。
補助事業等実施による効果	札幌交響楽団員によるプロの演奏を鑑賞する場合は、観客に深い感動や興奮を与え、音楽の力を通じて感性を高めることができます。これにより、芸術に対する理解や関心が深まり、芸術文化の発展に寄与することが期待できます。また、市内で実施することは市外へ足を運ばない市民の方々にも共通の場を提供することになり、地域全体の文化的意識の向上にもつながると考えられます。
備 考	

注1 この様式は、大会等の開催その他これに類する事業等に要する経費に係る補助金等の交付を申請し、又は当該補助金等に関し実績報告をする場合に使用すること。

2 補助事業等の内容は、事業項目ごとに詳細に記載すること。

3 この様式には、当該大会等を主催する団体の構成員（役員）名簿を添付すること。

事業（予算・決算）書

補助事業等の名称 金管五重奏コンサート

収入の部

科 目	金 額 (円)	備 考
参加費	120,000	入場料@1,500×80 高校生以下無料
自己資金	270,084	
市補助金	390,000	
合 計	780,084	

支出の部

科 目	金 額 (円)	備 考
報償費	677,084	演奏者謝金1名222,741（インスペクター代含む） 演奏者謝金4名89,096×4名 ※いずれも札幌交響楽団所属 プログラムノート作成謝金1名※アートライター 会場設営ボランティア協力者謝金2名
需用費	85,000	消耗品 10,000、印刷製本費 40,000 通信運搬費 5,000、演奏者飲料、軽食 30,000
役務費	3,000	JASRAC 著作権使用料
使用料	15,000	会場使用料
合 計	780,084	

令和6年 5月9日

補助事業者等

特定非営利活動法人

こども・コムステーション・いしかり

理事長 伊藤 美由紀



注1 この様式には、当該補助事業等に係る予算（決算）のみを記載すること。

2 「科目」欄の区分は、標準を示したものであるので補助事業者等における通常の予算区分がこれと異なるときは、その区分に従い記載して差し支えない。ただし、補助対象経費と補助対象外経費が明確になるように細分化すること。

3 「備考」欄には、必要に応じ、算出基礎その他必要な事項を記載すること。